



2020年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月15日

上場会社名 株式会社ノダ

上場取引所 東

コード番号 7879 URL <http://www.noda-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野田 励

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 宮田 佳明

TEL 03-5687-6222

四半期報告書提出予定日 2020年7月15日

配当支払開始予定日

2020年8月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第2四半期の連結業績(2019年12月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	31,144	5.6	1,425	9.4	1,465	9.0	807	14.9
2019年11月期第2四半期	32,992	1.1	1,572	24.0	1,610	22.5	948	49.8

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 390百万円 (49.8%) 2019年11月期第2四半期 778百万円 (60.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	49.57	
2019年11月期第2四半期	58.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年11月期第2四半期	61,526	29,570	43.3	1,634.26
2019年11月期	62,291	29,419	42.6	1,627.89

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 26,614百万円 2019年11月期 26,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期		12.50		12.50	25.00
2020年11月期		12.50			
2020年11月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2020年11月期の期末配当につきましては、2020年1月15日に公表した予想値を一旦取り下げ、未定といたします。

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、現時点で業績予想を合理的に算出することが困難であることから、2020年1月15日に公表した2020年11月期の通期連結業績予想を一旦取り下げ、未定といたします。今後、業績予想の算出が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年11月期2Q	17,339,200 株	2019年11月期	17,339,200 株
期末自己株式数	2020年11月期2Q	1,053,981 株	2019年11月期	1,053,981 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年11月期2Q	16,285,219 株	2019年11月期2Q	16,285,268 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会について)

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、決算説明会の開催を中止いたします。なお、決算説明資料につきましては、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年12月1日～2020年5月31日)におけるわが国経済は、消費税増税後の個人消費マインドが低下するなか、期間後半において、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により景況感が急速に悪化いたしました。また、住宅需要につきましては、新設住宅着工戸数が前年同期に比べ低水準で推移したことに加え、新型コロナウイルスの影響からリフォーム工事の延期が発生するなど厳しい事業環境となりました。

こうしたなか当社グループは、新たに投入した内装建材シリーズの市場定着に取り組んだほか、建具類の価格改定や内製化促進、国産針葉樹合板の活用推進、MDF(中質繊維板)の販売強化や非住宅分野の市場開拓など様々な施策に取り組み、収益力の向上やコスト競争力の強化に努めましたが、住宅需要の低迷により苦しい事業環境が続きました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高31,144百万円(前年同期比5.6%減)、営業利益1,425百万円(前年同期比9.4%減)、経常利益1,465百万円(前年同期比9.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は807百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

◇セグメント別の状況

〔住宅建材事業〕

内装建材シリーズ「ビノイエ」「アートクチュール」などの販売に引き続き注力するとともに、昨年10月に発売したシンプルで洗練された世界観を提案する「モードコレクト」の市場定着に取り組みました。フロアについても、国産針葉樹合板とMDFの複合基材を使用した「ラスティックフェイス リッチJベース」「Jネクシオ」を軸に、意匠性の多様化により提案力の強化を図りました。

また、本年1月に投資した業務提携先のIFI社(インドネシア ファイバーボード インダストリー社)から輸入したMDFの拡販に注力いたしました。さらに、バリアフリー商品群「ユニバーサル ディレクト」を足がかりにサービス付き高齢者向け住宅や福祉施設、幼保施設などの非住宅分野の開拓に取り組むとともに、リフォーム・リノベーション需要の獲得にも努めました。

なお、収益性の改善のため、引き続き建具類の内製化を一層推し進めるなど各種コストダウン策に取り組んだほか、本年4月には建具類の一部製品の価格改定を行い一定の効果が見られましたが、住宅需要低迷の影響により建材製品全般の販売量が減少する厳しい状況が続きました。この結果、住宅建材事業の売上高は19,252百万円(前年同期比7.0%減)、セグメント利益は1,101百万円(前年同期比8.8%減)となりました。

〔合板事業〕

国産針葉樹合板は、住宅需要低迷の影響から市場在庫の水準が上昇するとともに、販売価格が緩やかな下落傾向となりました。このため、本年3月以降は生産調整を行い、在庫増加の抑制と合板市況の引き締めを図ったことから、販売量は減少いたしました。

輸入南洋材合板は、前年同期に比べると販売量は増加いたしました。国内需要は依然低水準で推移し、採算につきましては前期に引き続き厳しい状況となりました。

この結果、合板事業の売上高は11,892百万円(前年同期比3.2%減)、セグメント利益は1,076百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

〈セグメント別売上高及び損益〉

	売上高(百万円)	前年同期比(%)	構成比(%)	セグメント利益(百万円)	前年同期比(%)
住宅建材事業	19,252	△7.0	61.8	1,101	△8.8
合板事業	11,892	△3.2	38.2	1,076	△0.7
調整額※	—	—	—	△752	—
合計	31,144	△5.6	100.0	1,425	△9.4

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、並びに各報告セグメントに配分していない全社費用です。

(2) 財政状態に関する説明

◇資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は61,526百万円となり、前連結会計年度末に比べ765百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少376百万円、受取手形及び売掛金の減少2,029百万円、製品の増加996百万円、原材料及び貯蔵品の増加307百万円、投資有価証券の増加460百万円などによるものです。

負債は31,955百万円となり、前連結会計年度末に比べ915百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少360百万円、未払法人税等の減少220百万円、設備関係支払手形の減少251百万円などによるものです。

純資産は29,570百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加807百万円及び配当による利益剰余金の減少203百万円、その他有価証券評価差額金の減少298百万円、為替換算調整勘定の減少241百万円などによるものです。

◇キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ376百万円減少し、17,071百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動におけるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が1,334百万円となり、減価償却費の計上による972百万円の増加、売上債権の減少による2,027百万円の増加、たな卸資産の増加による1,304百万円の減少、仕入債務の減少による357百万円の減少、法人税等の納付による570百万円の減少などの要因から、2,002百万円の収入(前年同期は1,764百万円の収入)となりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による1,083百万円の減少、設備投資など有形固定資産の取得による992百万円の減少などの要因から、2,237百万円の支出(前年同期は564百万円の支出)となりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、長期借入れによる900百万円の増加、長期借入金の返済による701百万円の減少、配当金の支払いによる203百万円の減少などの要因から、135百万円の支出(前年同期は1,468百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

住宅業界におきましては、政府が発令した緊急事態宣言によって本年4月から5月にかけて経済活動が著しく停滞した影響から、下半期(6月～11月)は新設住宅着工戸数が期初の予想よりもさらに減少するものと見込まれます。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期や感染拡大が景気に与える影響は極めて不透明であり、新設住宅着工戸数の減少の程度を予測することは非常に困難な状況にあります。また、合板相場につきましても、出荷量が着工戸数に大きく影響されることから、今後の動向は不透明であります。

このように、当社グループを取りまく事業環境の先行きについて不確実性が著しく高まったことから、現時点において業績予想を合理的に算出することは困難であります。そのため、本年1月15日に公表した2020年11月期の連結業績予想を一旦取り下げ、「未定」といたします。今後、業績予想の算出が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,845,802	17,469,207
受取手形及び売掛金	12,356,581	10,327,508
製品	5,952,553	6,948,580
仕掛品	1,442,062	1,387,803
原材料及び貯蔵品	2,407,006	2,714,842
その他	266,642	222,036
流動資産合計	40,270,648	39,069,978
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,632,447	2,617,105
機械装置及び運搬具(純額)	5,270,865	5,054,446
工具、器具及び備品(純額)	288,044	270,044
土地	5,739,305	5,772,470
立木	142,761	139,798
リース資産(純額)	220,238	214,560
建設仮勘定	118,892	137,248
有形固定資産合計	14,412,554	14,205,673
無形固定資産	312,495	403,110
投資その他の資産		
投資有価証券	4,929,427	5,389,909
繰延税金資産	1,726,859	1,808,279
その他	641,481	651,495
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	7,295,767	7,847,684
固定資産合計	22,020,817	22,456,468
資産合計	62,291,465	61,526,446

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,032,935	11,672,931
短期借入金	6,629,776	6,806,618
1年内償還予定の社債	169,760	39,760
未払金	1,796,433	1,658,518
賞与引当金	-	801,448
災害損失引当金	-	11,590
未払法人税等	574,246	354,152
設備関係支払手形	761,388	510,284
その他	1,743,874	769,522
流動負債合計	23,708,415	22,624,827
固定負債		
社債	101,080	81,200
長期借入金	2,532,830	2,689,390
環境対策引当金	42,037	40,639
長期未払金	142,270	142,270
退職給付に係る負債	6,052,491	6,059,058
その他	292,680	318,503
固定負債合計	9,163,389	9,331,061
負債合計	32,871,804	31,955,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141,000	2,141,000
資本剰余金	1,587,822	1,587,822
利益剰余金	23,549,026	24,152,664
自己株式	△423,809	△423,809
株主資本合計	26,854,039	27,457,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	610,643	311,661
繰延ヘッジ損益	2,977	1,158
為替換算調整勘定	△449,865	△691,251
退職給付に係る調整累計額	△507,208	△464,889
その他の包括利益累計額合計	△343,453	△843,321
非支配株主持分	2,909,074	2,956,201
純資産合計	29,419,661	29,570,557
負債純資産合計	62,291,465	61,526,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
売上高	32,992,535	31,144,910
売上原価	25,117,663	23,640,978
売上総利益	7,874,871	7,503,931
販売費及び一般管理費	6,302,668	6,078,749
営業利益	1,572,202	1,425,181
営業外収益		
受取利息	588	784
受取配当金	11,750	8,995
持分法による投資利益	101,808	71,377
その他	34,914	35,702
営業外収益合計	149,062	116,860
営業外費用		
支払利息	41,403	35,334
売上割引	26,174	25,902
売上債権売却損	13,774	12,747
その他	29,117	2,509
営業外費用合計	110,469	76,493
経常利益	1,610,795	1,465,548
特別利益		
補助金収入	108,927	-
特別利益合計	108,927	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	62,934
固定資産除却損	11,523	22,916
固定資産圧縮損	108,927	-
災害による損失	139,086	45,109
特別損失合計	259,537	130,960
税金等調整前四半期純利益	1,460,185	1,334,587
法人税、住民税及び事業税	311,815	344,599
法人税等調整額	46,299	39,871
法人税等合計	358,115	384,471
四半期純利益	1,102,070	950,116
非支配株主に帰属する四半期純利益	154,041	142,913
親会社株主に帰属する四半期純利益	948,028	807,203

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
四半期純利益	1,102,070	950,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143,205	△323,344
繰延ヘッジ損益	△5,599	△1,819
為替換算調整勘定	△69,944	△99,687
退職給付に係る調整額	16,688	42,319
持分法適用会社に対する持分相当額	△121,452	△177,122
その他の包括利益合計	△323,514	△559,655
四半期包括利益	778,555	390,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	649,040	307,335
非支配株主に係る四半期包括利益	129,515	83,126

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,460,185	1,334,587
減価償却費	999,915	972,576
補助金収入	△108,927	—
固定資産除却損	11,523	22,916
固定資産圧縮損	108,927	—
災害損失	139,086	45,109
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△1,428	△1,398
賞与引当金の増減額(△は減少)	828,803	801,448
受取利息及び受取配当金	△12,339	△9,780
支払利息	41,403	35,334
投資有価証券評価損益(△は益)	—	62,934
持分法による投資損益(△は益)	△101,808	△71,377
売上債権の増減額(△は増加)	649,119	2,027,976
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,249,785	△1,304,573
仕入債務の増減額(△は減少)	364,668	△357,815
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,926	△10,768
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△23,075	96,297
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,025,190	△1,033,792
その他	214,208	△38,179
小計	2,272,359	2,571,498
利息及び配当金の受取額	40,908	38,453
利息の支払額	△40,869	△35,858
災害損失の支払額	△113,794	△1,067
法人税等の支払額	△394,179	△570,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,764,425	2,002,298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△230,000	△230,000
定期預金の払戻による収入	230,000	230,000
投資有価証券の取得による支出	△597	△1,083,850
有形固定資産の取得による支出	△665,201	△992,387
補助金の受取額	108,927	—
その他	△8,121	△161,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△564,992	△2,237,866
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△413,038	134,604
長期借入れによる収入	200,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△911,700	△701,340
社債の償還による支出	△19,880	△149,880
リース債務の返済による支出	△86,111	△78,971
配当金の支払額	△203,565	△203,565
非支配株主への配当金の支払額	△34,000	△36,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,468,295	△135,151
現金及び現金同等物に係る換算差額	△128	△5,875
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△268,991	△376,594
現金及び現金同等物の期首残高	14,805,108	17,447,802
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,536,116	17,071,207

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。